



- 南紀白浜空港から羽田空港へ 約1時間10分
 - 和歌山市まで
 - 関西国際空港からバスで 約40分
 - 大阪市内中心部から車で 約1時間
- JR
 - 新幹線
 - 南海電鉄
 - 高速・自動車専用道路
 - 京奈和自動車道
 - 主要道路
 - 今号の取材先

メディア関係の皆さまへ

和歌山県では、取材への積極的な協力・現地情報の提供等を行っています。

お問い合わせ
和歌山県広報室
TEL 073-441-2032 FAX 073-423-9500
e-mail nagomi-waka@pref.wakayama.lg.jp

県外にある情報コーナー
東京 わかやま喜集館
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL 03-3216-8000 FAX 03-3216-8002
e-mail wtkankou@sepia.ocn.ne.jp
案内時間 10:00～19:00(日曜、祝日は17:00まで)
休館日:年末年始

名古屋 和歌山県名古屋観光センター
名古屋市中区栄4-1-1 中ビル4階
TEL:052-263-7273 FAX:052-265-0327
e-mail wakayama758@crocus.ocn.ne.jp
案内時間 9:00～17:45 (月～金)※祝日・年末年始は除く

和歌山県フォトライブラリー (写真貸出)
http://www.pref.wakayama.lg.jp/photo/

和歌山応援団求む。

「ふるさと和歌山応援寄附」を通じてサポートしてください

和歌山県では、世界遺産や文化財の保全、2015国体開催、美しい海づくり、森づくりなどに活用させていただきます。選択肢の中から活用方法の指定もできます。どうぞよろしくをお願いします。

ふるさと和歌山応援サイト
www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/
※クレジットカードもご利用可能です。

表紙写真 チェンソーアート「龍神」(記事P.6)

企画・発行／和歌山県
発行日／平成21年3月13日
編集／(株)エフピーアイ・コミュニケーションズ
印刷／(株)恒陽社

wadai 05

たま電車に乗って三社参りへ



スーパー駅長たまの活躍で知られる和歌山電鉄貴志川線に「たま電車」が3月21日デビュー。外観に101匹のたま駅長が描かれ、車内は水戸岡鋭治デザイナーオリジナルのたま駅長柄シートがあらわれている。電車の運行に合わせ、かつて盛んだった三社参りを復活させようと「西国三社参りスタンプラリー」を実施中だ。三社参りとは3つの神社を参拝する風習で、和歌山では日前神宮、竈山神社、伊太祁曽神社を詣でる人が多く、貴志川線はその参詣鉄道として敷設されたと言われている。スタンプラリーではこの三社や沿線の観光地を訪れることができる。



(上)和歌山電鉄貴志川線スーパー駅長・和歌山県勲功爵たま卿
(下)たま電車の外観 ※和歌山電鉄貴志川線は和歌山駅から乗車可能

wadai 06

大学生120人が農林業を体験



新宮市熊野川町で12月26～29日、大学生約120人が参加して農林業の作業と住民との交流が行われた。山林の間伐や休耕地の草刈り、民家の清掃などを地域の人々と一緒に実施。これは都市農村交流の企画を行う団体、共育学舎と、災害救援などの活動を行う国際ボランティア学生協会が主催。「学生は過疎化に対して問題意識が高い。この体験をきっかけに将来は田舎に戻り、地域振興に寄与してもらえれば」と企画した一橋大学院生の柴田哲弥さんは語る。

休耕地の手入れをする学生たち

PRESENT | 紀州の味覚「きてらセット」を5名様にプレゼント

田辺市秋津野直売所「きてら」の「きてらセット」(地域産物詰め合わせ)1箱を、5名様にプレゼントします。本誌のアンケートはがきでご応募下さい。締め切りは4月30日、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



写真はイメージです (記事 P.9)

wadai 02

オスマン帝国の鍋、119年ぶりに開けられる



串本町大島沖で1890年に沈没したトルコ軍艦エルトゥール号の発掘調査で1月26日、大型の調理鍋が引き揚げられた。119年ぶりに開けられた鍋からは残念ながらオスマン帝国時代の料理を知る手がかりは得られなかったが、他に約3,500点の遺品を収集した。当時、公式使節を乗せたこの軍艦は修好を果たした帰路で暴風雨のため難破。650人の乗組員のうち69人が島民らに救助され、これがトルコと日本の友好の礎となっている。遭難から120年にあたる来年は、串本町とトルコで式典や遺品の巡回展が企画されている。

引き揚げられる大鍋(写真:赤木正和氏)

wadai 04

野球王国復活を目指す紀州レンジャーズ



今春開幕の関西独立リーグに出場する和歌山市本拠の紀州レンジャーズが、1月27日、入団発表を行った。監督には阪神タイガースの監督を務めた同市出身の藤田平氏が就任し、「野球王国和歌山を復活させ故郷をPRしたい。やるからには優勝を目指す」と抱負を語った。関西独立リーグは大阪府、神戸市、明石市、和歌山市に拠点を置く4球団でスタート、年間72試合を行う。野球への情熱を燃やす若者のNPBへの登竜門と地域活性化にも期待がかかる。

監督に就任した藤田平さん

EVENT

春らんまん、紀州のお花見スポット

3月下旬～4月上旬 紀三井寺、桃源郷など

桜 800本の桜が彩る和歌山市の紀三井寺は、近畿地方に春を呼ぶ寺として人々に愛されてきた。和歌山城は幻想的な夜桜が、岩出市の根来寺は樹齢200年のしだれ桜など7,000本の桜が見事!



桃 紀の川市桃山町の桃源郷では4月上旬「ひと目十万本」と呼ばれるほど広大な桃畑が一面ピンクになる。ほのかな甘い香りがたちこめ、まさに桃源郷。



wadai 01

プレミアム和歌山、181品でスタート!



優れた県産品を県が推奨する制度「プレミアム和歌山」の第一回推選品が12月18日に発表された。411件の応募の中から選ばれたのは181品。温州ミカン、梅干し、生マグロなどの水産加工品、梅酒や日本酒、醤油、備長炭などの特産品177点に加え、お燈祭りなど4つの祭りが入っているのも伝統を誇る和歌山ならではの。安心安全であるだけでなく、和歌山らしさや製造者のこだわり・創意工夫があるか、誕生の物語性があるかを審査し、幅広い分野から認定。今後、県全体でアピールしていく。

伝統やこだわりがうかがえる特産品の数々

wadai 03

醤油とカカオの絶妙なハーモニー



「オテル・ドゥ・スズキ」は女性記者に人気の洋菓子の名店。最近そのショーウィンドウに登場したあるショコラが話題となっている。オーナーシェフの鈴木鉄士氏は紀州和歌山の新宮市出身。生家が老舗の和菓子店だったこともあり、和のテイストを生かした季節感たっぷりの洋菓子を提案してきた。今回発売のショコラは、なんと和歌山産の「醤油」を素材に加えたもの。和歌山県とコラボしたイベントが縁で誕生した。口にする、醤油の香りが一瞬口に広がった後に芳醇なカカオの香りが絶妙に混ざり合う。

「ショコラに限らず、うちの洋菓子は香りをどうコントロールするかにこだわっています。五感でおいしく感じられることが大切。素材をできるだけいじらないことがポイントです」(鈴木氏)。このショコラ、小田急線・祖師ヶ谷大蔵駅前のプレザンテ店、吉祥寺ロンロン店、玉川高島屋店などで販売中だ。



(上)「オテルドゥスズキ」の鈴木鉄士シェフ (下)醤油を使ったショコラ